

第20回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

グループリーグ2回戦	天候	晴	風	弱	ピッチの状態	芝良好
	気温	30℃	湿度	70%		
<div>コンサドーレ札幌ユース（U-15）</div> <div><div><div><div>1</div><div>—</div><div>1</div></div><div>0</div><div>—</div><div>0</div></div></div> <div>EXE90フットボールクラブ （関西7）</div>						
得点者 玉岡 4分			得点者 玉木 13分			
システム			システム			
4-5-1						
<p>昨日の雨も上がり、さわやかな風が吹くコンディション。気温28度と今日の札幌より涼しいか。コンサドーレ先発はGK安田DF大吉・加藤・熊澤・本間MF浦田・竹内・安藤・鶴野・古田FW玉岡の11人。コンサドーレのキックオフで試合開始。コンサドーレペースの試合序盤、最初のシュートは古田が放つ。4分EXE90（エグゼ90）のゴールキックを鶴野がヘディングで返し、走り込んだ玉岡が飛び出したGKの頭越しにあっさり先制。その後もエグゼ陣内でゲームは進む。しかし12分ゴール正面20メートル付近で一瞬のマークのずれから、ミドルシュートで同点にされる。GK安田も予期していなかったのか、反応が遅れた失点であった。その後もコンサドーレのペースでゲームは進むが安藤のヘディングもバーを超える。20分すぎからコンサドーレの動きの鈍さが目につく、反応も遅くなる。パスミスが連続して、ややエグゼのボール支配率が高まってくる。31分熊澤が左からオーバーラップでシュートを放つがゴールマウスをはずれる。その後もペースがつかめず、前半を終了する。ハーフタイム、森下監督からの指示は、もっとボールを奪いに行けだった。その訳は、エグゼMFに140CMの選手がいて、レフリー（女子）が過剰にボディコンタクトにホイッスルを吹いていたので、選手たちも腫れ物に触るような対応を余儀なくされたことも一因ではあった。後半DF大吉に代わり打矢を投入して、得点を奪いに行く。その打矢が後半最初のシュートを打つが、ゴールマウスをはずれる。41分左サイドから本間が駆け上がりクロス。エグゼDFのクリアボールを鶴野がコントロール、ハーフボレーを放つが僅かに右ポストの外側。逆に42分エグゼがスピーディーにパスをつなぎ、右サイドから走り込んだ17番塩川がGKと1対1となるピンチ。しかし果敢に飛び出した安田が好セーブ。今度は49分、左から玉岡が抜けだし、クロスに竹内が合わせるが、左足にフィットしない。60分鶴野が中盤でボールカット、玉岡へのパス。そのままゴールラインまで切り込みフォアサイドに走り込んでいた安藤へ絶妙なクロス。決まったに見えたが、必死に戻るエグゼDFがつま先に当て辛うじてクリア。コンサドーレ絶好のチャンスを逃す。67分またもや絶好の勝ち越し場面。ハンドで得たFKを、古田がホイッスルと同時にリスタート。ゴール左でフリーになっていた鶴野へと渡し、GKと1対1。強烈なシュートだったがゴールネットを揺らすことはできない。残り時間も攻め続けるが、1-1のまま終了のホイッスル。シュート数はコンサドーレ16本、エグゼ4本が示すとおり取りこぼしの勝ち点1であった。</p>						
戦評 加藤 孝俊						